

平成 31 年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査について

（本調査は、全国悉皆調査で第 6 学年児童を対象に 4 月に実施されたもの）

1 学力調査に関する結果の概要

【国 語】

- 目的に応じて、文章全体のあらましを見渡して、効果的に読んだり、事実と感想、意見などの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながらか読んだりすることができている。
- 話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることができている。
- 漢字の意味を考えて文の中で正しく書いたり、ことわざの意味を理解して、文の中で適切に使ったりすることに課題が見られる。

【算 数】

- 減法や除法において、計算しやすい式に直して工夫して計算することができる。
- 棒グラフから資料の特徴や傾向、数量の関係を読み取ることができる。
- 図形の面積の求め方や除法の計算の仕方を、式や数、言葉を用いて記述する問題に課題が見られる。

2 児童質問紙に関する結果の概要

- 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦する力が身に付いている。
- 今住んでいる地域の行事に参加する態度が身に付いている。
- 学習したことを普段の生活の中で活用しようとする意識に課題がある。

3 取組についての評価

(1) 教科に関する取組

① 効果があった取組

- ・算数科の重点単元における少人数指導や個に応じた補充学習の実施
- ・ユニバーサルデザインの視点を大切にした授業改善の推進
- ・国語・算数の基礎・基本の習得を図るためのさわやかタイム（スキルアップタイム）の実施

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・活用する力を育む「問い」を吟味した授業づくり
- ・さわやかタイム（スキルアップタイム）での課題に応じた内容の見直し
- ・アウトプットの活動（書く・話す・発表する）を重視した授業づくり

(2) 児童（生徒）質問紙の内容に関する取組

① 効果があった取組

- ・全学年において読み取る力を育む問題を取り入れた家庭学習の実施
- ・学校生活にかかわる目標設定と、その取組への評価を行うためのチャレンジカードの活用
- ・全校での名人の取組（発表、ノート、漢字、宿題、あいさつ等）
- ・地域の施設や人材を積極的に活用した授業づくり

② 今後の学力向上に向けた取組

- ・学習したことが生活の中でどのように活用できるのかを考える場の設定
- ・次の学び（行動）につながる振り返り活動の実施